

# 実動訓練による運用の実効性向上



第774号  
令和3年10月14日

### 要望事項

- 「真に戦える実効性ある部隊の創造」
- 「地域等との連携」
- 「人間力の強化」

発行：北部方面隊総監部広報室



室蘭港に下船する89式装甲戦闘車



釧路港へ前進する99式自走155mm榴弾砲

第7師団(師団長 中村陸将)は、9月5日から8日までの間、長距離機動訓練を実施した。本訓練は、機動展開能力の維持・向上を目的として、90式戦車、89式装甲戦闘車、99式自走155mm榴弾砲等による公道自走及びPFI(民間資金等活用事業)船舶による海上機動を実施した。



隊友会及び家族会の激励

**長距離機動訓練**  
戦略的に運用される師団として  
機動展開能力を維持・向上

公道自走は、釧路駐屯地から矢別演習場又は釧路港の間、苫小牧港及び室蘭港から東千歳駐屯地の間、また、海上機動は、釧路港から苫小牧港の間、苫小牧港から室蘭港の間でそれぞれ実施した。本訓練を通じ、関係部外機関との調整に基づき、安全を確保しつつ機動を完了し、所望の成果を得て訓練を終了した。



防御準備



敵戦車に対し110mm個人携帯対戦車弾を照準する隊員



戦闘予行

方面隊は、8月20日から26日までの間、矢別演習場において、陸上自衛隊教育訓練研究本部が担任する令和3年度北海道訓練センター実動対抗演習第3回運営に参加した。本運営には、方面隊内の各部隊が統裁運営を支援するとともに、第5旅団(旅団長 廣惠陸将補)隷下の第27普通科連隊、第5特科連隊、第5戦車大隊等で編成された増強第27普通科連隊が参加し、東北方面隊第6師団隷下の第44普通科連隊を基幹とする増強普通科連隊との実動対抗演習を実施した。

攻撃する増強第44普通科連隊に対し、増強第27普通科連隊が周到に準備した陣地で諸職種協同による防御戦闘を行い、所望の成果を得て本運営を終了した。

諸職種協同に必要な練度を向上

**北海道訓練センター実動対抗演習**  
第3回運営への参加

### 第2師団総合戦闘射撃

#### 諸職種部隊の総合された 火力発揮要領を練成

第2師団(師団長 富樫陸将)は、8月20日から29日までの間、上富良野演習場において総合戦闘射撃を実施した。本訓練には、第25普通科連隊、第2戦車連隊及び第2特科連隊が参加し、陣地防御における普通科連隊戦闘団の行動を演練した。各部隊は、一連の戦況推移に伴う射撃、各級指揮官の状況判断、無人偵察機を使用した観測、無人偵察機に対する射撃を主要演練項目として実施した。

この際、北海道訓練センター実動演習第2回運営において練成した諸職種連携による火力発揮要領、戦闘団指揮所への情報伝達要領等を実射訓練により練成し、所望の成果を得て訓練を終了した。



81mm迫撃砲の射撃



74式戦車の射撃



總監による訓練現地指導



小銃小隊と戦車による射撃

### 地对艦ミサイル部隊実射訓練

#### 米国ポイントマシュー射場において 対艦戦闘能力を向上

第1特科団(団長 大場陸将補)は、7月5日から19日までの間、米国カリフォルニア州ポイントマシュー射場において地对艦ミサイル部隊実射訓練を実施した。本訓練は、離島侵襲事態対処における島嶼守備部隊の対海上火力運用を担担する地对艦ミサイル連隊として、実射に係る一連の行動を演練して、対艦戦闘能力を向上させることを目的に行われ、隷下部隊の第1・第3地对艦ミサイル連隊が参加した。

各部隊は、陣地占領射撃準備から実射までの一連の行動を実施し、所望の成果を収めた。



88式地对艦誘導弾の射撃



洋上の目標船を捜索・標定するレーダ装置



射撃準備中の射撃班

### 偵察部隊合同訓練

#### 偵察能力及び 偵察警戒車の射撃練度を向上

第7師団(師団長 中村陸将)は、8月2日から5日までの間、北海道大演習場において偵察部隊合同訓練を実施した。本訓練は、各偵察部隊等の偵察能力及び偵察警戒車の射撃練度の向上を図ることを目的に、北海道に所在する師団・旅団隷下の偵察隊が参加した。

参加部隊は、偵察行動から分隊戦闘射撃までの一連の行動を訓練し、オートバイを活用した偵察行動、偵察警戒車による不意現出目標や移動目標に対する射撃を行い、分隊(班)長の射撃指揮、目標命中数等を競技し、練度を向上させた。



偵察のための前進



87式偵察警戒車による射撃

### 第11旅団施設部隊集合訓練

#### 漕舟技術を競い、 任務遂行能力を向上

第11旅団(旅団長 宮本陸将補)は、7月15日から21日までの間、茨戸川渡河訓練場において旅団施設部隊集合訓練を実施した。本訓練の総仕上げとして、渡河ポート及び偵察ポート装備部隊に対し、同一の訓練基盤を付与して、漕舟技術の部隊間の切磋琢磨を促進するため、渡河競技会を行った。

参加部隊は、競技会を通して団結の強化、士気の高揚及び漕舟技術を向上させ、任務遂行能力を向上させた。



偵察ポートの部



渡河ポートの部

### 第13施設群訓練検閲

#### 教育訓練成果を評価、 進歩向上を図る

第3施設群(群長 浅賀陸将補)は、8月23日から9月4日までの間、北海道大演習場及び天塩訓練場において第13施設群に対し訓練検閲を実施した。本訓練検閲では、旅団に配属された施設群の行動を検閲課題とし、当初、天塩訓練場において、北部方面ヘリコプター隊と連携した水際地雷原の構成及び汀線部における複合障害の構成を行い、その後、北海道大演習場において、治安行動における重要防護施設の防護、障害構成及び81式自走架柱橋による橋梁架設の準備を行った。

第13施設群は、日頃の訓練の成果を発揮し、与えられた任務を完遂した。



94式水際地雷ヘリコプター用敷設器による水際地雷構成の準備



81式自走架柱橋による橋梁架設



重要防護施設の防護



88式地对艦誘導弾発射機の操法訓練 (野戦特科)



120mm迫撃砲の操法訓練 (普通科)



機上訓練 (航空科)



漕舟訓練 (施設科)

### 一般陸曹候補生課程後期及び新隊員特技課程

専門的な技術の修得を目指す  
方面隊は、7月上旬からそれぞれの職種部隊において、一般陸曹候補生課程後期及び新隊員特技課程を実施しており、それぞれ修了の時期を迎えている。  
新隊員は、所属する教育隊で、今後部隊において勤務する上で必要知識及び技能を修得するための教育を修了し、その後部隊へ配置される。  
入隊してから約6か月、見違えるほど成長した隊員は、今後の北部方面隊を支える職種のプロとしての新たなスタートを切る。

### 第5旅団レンジャー集合教育

過酷な状況下で体力・気力の限界に挑む

第5旅団(旅団長 廣 惠陸将補)は、7月19日、第4普通科連隊長(甲斐 1佐)を担任官としてレンジャー集合教育を開始した。  
本教育は、選ばれた隊員に対し、レンジャー隊員に必要な知識及び技能を修得させるとともに、当該特技に必要な資質、特に強靱な体力及び精神力を涵養することを目的として実施中である。  
厳しい素養試験を突破した23名の隊員は、体力調整、山地潜入、空路



救出法訓練



空路潜入訓練



体力調整

### 第2、第7師団及び第11旅団レンジャー帰還式

全ての訓練を乗り越え 掴んだレンジャーき章

第2師団(師団長 富 樫陸将)は、7月23日、第7師団(師団長 中村陸将)及び第11旅団(旅団長 宮本陸将補)は、7月24日、それぞれレンジャー集合教育帰還式を実施した。  
全ての訓練を乗り越え、最終想定を終えたレンジャー学生達は、ご家族、部隊長、各部隊の隊員等が出迎える中、無事の帰還を果たした。  
帰還報告を終え、レンジャーき章を授与され



隊員及びご家族に出迎えられ帰還



隊員からの激励



任務終了報告

**第1電子隊長**  
1等陸佐 篠田 和彦

前出身地 職 宮崎県 システム通信団 高級幕僚



**北海道補給処長**  
陸将補 堀江 祐一

前出身地 職 東京都 幕僚副官



**第3施設団長**  
陸将補 河口 弘幸

前出身地 職 茨城県 情報本部 計画部長



**第1特科団長**  
陸将補 牧野 雄三

前出身地 職 茨城県 自衛隊東京地方協力本部 本部長



**8月～10月 着任部隊長 紹介**

**函館駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 鎌田 勇一

前出身地 職 北海道 副連隊長



**南恵庭駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 中村 健太郎

前出身地 職 宮崎県 水陸機動教育隊長



**滝川駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 小笠原 桂一

前出身地 職 北海道 副連隊長



**北部方面対舟艇対戦車隊長**  
2等陸佐 齋藤 誠

前出身地 職 北海道 副連隊長



**北部方面指揮所訓練支援隊長**  
1等陸佐 中村 智志

前出身地 職 東京都 装備実験隊 副隊長





戦車試乗



護衛艦体験航海



航空機体験搭乗

# ノーザンスピリット21

陸・海・空自衛隊を総合的に紹介  
 方面隊は、7月中旬から8月上旬にかけて、陸海空自衛隊総合リット21を千歳、旭川、留萌及び帯広の4カ所で行われ、延べ289名の高校生等が参加した。本事業は、平成27年度から開始し、今年度27回目となる方面隊の事業であり、戦車試乗、護衛艦体験航海、航空機体験搭乗をはじめとした体験型イベントや、各種職域紹介の他、現役自衛官との懇談を実施した。参加者の一人は、各種説明に真剣な表情で耳を傾け、自衛官の仕事をよく理解することが出来たと述べていた。



予備自衛官等の制度説明 (旭川地本)



企業担当者による説明 (帯広地本)



説明会場 (函館地本)

## 任期制隊員合同企業説明会

### 退職予定者の再就職を促進 道内外の優良企業が参加

この説明会は、道内外から多くの協力企業が参加して行われ、来春退職予定の隊員に対し、事前に参加企業の情報提供し、参加企業及び求人者の状況を理解した上で、希望する業種、関心のある企業と面談ができるよう行われた。また、本説明会の機会を活用し、予備自衛官等PRコーナーを設け、参加企業に対し予備自衛官等制度に関する説明を実施して、同制度への理解の促進及び協力企業の拡大を図った。

### 令和3年度自衛官等採用案内

平和を、仕事にする。

募集種目	受付期間(締切)	試験期日	合格発表
自衛官候補生	旭川	10月12日	10月17・18日
	函館	10月13日	10月14・15日
医科・歯科幹部		10月29日	11月19日
防衛医科大学学生(一般)		10月27日	1次: 11月 6・7日 2次: 12月 7~11日
防衛医科大学医学科学生		10月13日	1次: 10月23日 2次: 12月15~17日
防衛医科大学看護学科学学生		10月 6日	1次: 10月16日 2次: 11月27・28日
陸上自衛隊高等工科学校生徒	推薦	12月 3日	令和4年1月8~11日
	一般	令和4年1月14日	1次: 1月22・23日 2次: 2月3~6日
貸費学生		令和4年1月14日	1月29日
			12月17日
			1次: 11月24日 最終: 1月21日
			1次: 12月 2日 最終: 1月31日
			1次: 11月12日 最終: 2月 4日
			1次: 1月28日 最終: 2月17日
			4月22日

### ~心の健康相談室~

#### 人生に潤いを与える言葉

静中の念慮澄徹なれば、心の真体を見る。  
 閑中の氣象従容なれば、心の真機を識る。  
 淡中の意趣冲夷なれば、心の真味を得る。

心を観じ道を証するは、  
 この三者に如くはなし。

(「菜根譚」前集・87)

即ち「静かな環境の中で何の邪念もなく冷静に考えをめぐらすことができれば、心の本当の姿が見える。くつろいだ環境の中で気持ちがゆったりと落ち着いていれば、心の本当の動きがわかる。淡々として何ものにもとらわれない環境の中で穏やかな気持ちであれば、心の本当の味わいがわかる。自分の本心を知り、人としての正しい道を理解するには、この三つの方法がもっともよい」というのです。

つまり、〈今(いま)・此処(ここ)〉を大事にするマインドフルネスの生き方ではないでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本 和雄

### リアルVOICE

採用種目ごとの目指し方や、仕事のやりがいを知ることができます。

Webでも応募できます

- ①自衛官HPにアクセス
- ②事前登録データ入力
- ③「事前登録完了通知メール」受信
- ④応募のためのデータ入力
- ⑤「応募受付完了通知メール」受信
- ⑥これで完了!!

動画はコチラ

2等陸尉  
防衛看護学

北部方面隊の部隊及び隊員の活動状況をぜひご覧ください。

訓練動画、北部方面隊カレンダー、広報紙「あかしや」等をご覧いただけます。

Facebook 北部方面隊 Webサイト  
 YouTube Twitter Instagram